



# こんにちは 日本共産党

# 市會議員

# 西野さち子 です

# くらしの目線で市政を変える

# 「ごみ袋値下げ」の願い、オール与党が不採択の暴挙!!

# 黒字分のムダづかいをやめよ！！

A black and white photograph showing a group of nine people (seven women and two men) gathered around a table in an indoor setting. They appear to be examining several documents and a large map spread out on the table. The individuals are dressed in casual to semi-formal attire. The background shows windows with blinds and some wall decorations.

「食農学部」という新しい学部をつくる動きがあるが、福島の農業は大丈夫、食べて応援という立場。「教職員一丸となつて」「オール福島で」「福島一丸となつて」など、異論を認めない動きが目立っている。モニタリングポストの周辺を除染して線量を低くしている。自分でデータを取ることが必要。自分で確かめ、自分の言葉で眞実を広げてほしい」と訴えられました。

国でも京都市でも、福島事故がなかつたかのように扱おうとしています。風化させないことが必要です。

「ごみ袋代値下げ」を求める請願署名が審議されました。

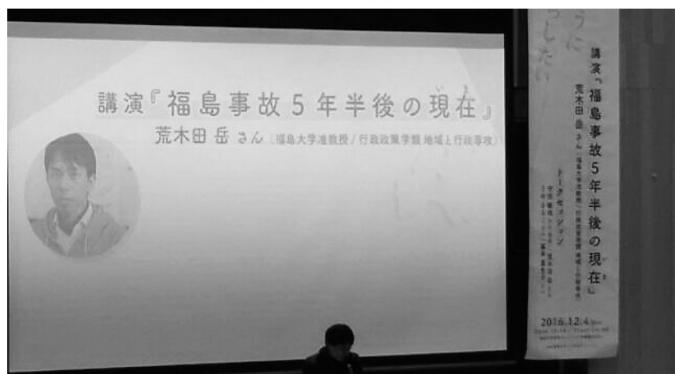
この請願署名は、2次にわたり請願署名が届けられ、委員会で審議が2回留保になる中、署名が広がり、市会に届けられないものを含めると1000筆を超える署名が集められていました。

委員会審議が不採択の流れになる中、陳情に切り替えるための相談をしたいと山根議員が留保の提案をしましたが、日本共産党以外の全議員が不採択を表明しました。

「年間約100億円の純利益があり、展望台建設などのムダ使いをするのなら値下げを」の声は、支持政党にかかわらず広がっています。引き続き運動を広げましょう。

「12月2日のがれくし環境委員会で  
「じみ袋代値下げ」を求める請願署  
名が審議されました。

「ふつうに暮らしたい」と題して、原発を考える伏見フオーラムが龍谷大学で開かれました。福島大学准教授の荒木田岳さんの講演「福島事故5年半の現在（いま）」に続き、守田敏也さんの司会でトークセッション

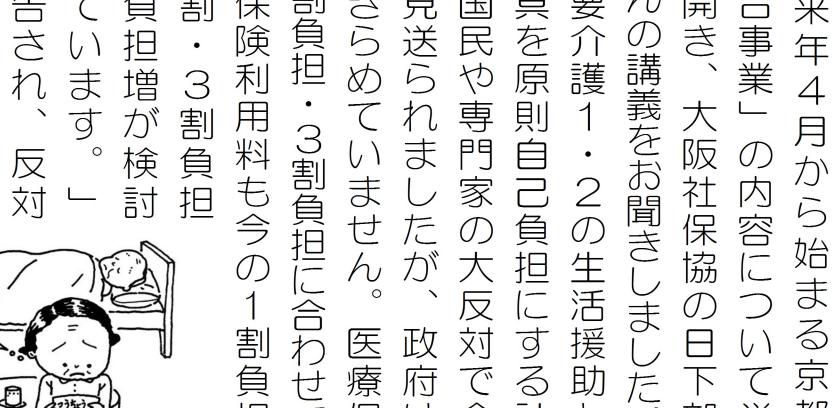


## 原発を考える伏見フオーラム

## 「介護保険改悪の現状と京都市総合事業」の学習会

共産党市会議員団は、安倍内閣が進める介護保険の大改悪の内容と、来年4月から始まる京都市「総合事業」の内容について学習会を開き、大阪社保協の日下部雅喜さんの講義をお聞きしました。

「要介護1・2の生活援助と福祉用具を原則自己負担にする計画は、国民や専門家の大反対で今国会は見送られましたが、政府はまだあきらめていません。医療保険の2割負担・3割負担に合わせて、介護保険利用料も今の1割負担から2割・3割負担への負担増が検討されています。」と報告され、反対運動の必要性を訴えられました。





## 歳末特別生活資金貸付（区役所・支所）

**相談** 12月9日(金)～15日(木)  
午前9時～11時30分・午後1時～3時

**貸付** 12月26日(月)

**内容** 1人3万円を目安に1世帯15万円を限度。担保、保証人は不要。ボーナスのある世帯や生活保護世帯、中国残留邦人等の支援世帯などは受けられません。

**申請 印鑑、保険証（世帯全員分）が必要**

**償還** 2年以内に、原則均等月賦で返済すること